

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 インタートレード

上場取引所 東

コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博

問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 新 宏行

TEL 03-3537-7450

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	902	△26.5	△181	—	△193	—	△194	—
21年9月期第1四半期	1,228	14.0	△46	—	△123	—	△113	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	△2,795.15	—
21年9月期第1四半期	△1,638.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	5,796	2,615	45.1	37,559.04
21年9月期	6,439	2,849	44.2	40,913.94

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 2,611百万円 21年9月期 2,844百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年9月期の配当は未定であります。

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,010	△3.7	△370	—	△390	—	△250	—	△3,595.72
通期	4,380 ～4,530	—	60 ～160	—	15 ～115	—	△245 ～△195	—	△3,523.81 ～△2,804.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	72,119株	21年9月期	72,119株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	2,592株	21年9月期	2,592株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第1四半期	69,527株	21年9月期第1四半期	69,527株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に記載しております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠した投資等の判断を行うことはお控えください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、証券業務を行う企業を対象に、株式等金融商品取引のパッケージシステムの販売及び保守を行っております。あわせて、バックオフィスシステムの販売及び保守、投資顧問業等を行っており、金融機関への総合サービスの提供を推進しております。

	平成21年9月期 (前第1四半期)		平成22年9月期 (当第1四半期)		対前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,228	100.0	902	100.0	73.5
営業利益(△)	△46	△3.8	△181	△20.1	—
四半期純利益(△)	△113	△9.3	△194	△21.5	—

(注) 前年第1四半期の売上高にはアーツ証券株式会社の売上高55百万円が含まれております。

<概況>

概ね期初計画通りの実績となりました。当第1四半期連結会計期間は、2010年1月4日稼働の東京証券取引所の新システム「arrowhead」への事前対応にリソースを重点投入いたしました。

費用面については、継続的に実施しているコストコントロールの徹底、商品の高付加価値化に向けた先行投資の実施を行った結果、販売費及び一般管理費は460百万円(前年同期比75.6%)となりました。

以上のことから、連結売上高902百万円(前年同期比73.5%)、営業損失は181百万円(前年同期は46百万円の営業損失)となりました。また、四半期純損失は194百万円(前年同期は113百万円の四半期純損失)となりました。

事業セグメント別の概況は次の通りであります。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

(証券ソリューション事業)

証券ソリューション事業の概況は以下の通りであります。

	平成21年9月期 (前第1四半期)		平成22年9月期 (当第1四半期)		対前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	144	12.3	80	9.0	55.9
システムインテグレーション売上	388	33.0	208	23.1	53.7
ライセンスビジネス売上	171	14.6	221	24.6	129.3
カスタマーサポート売上	472	40.1	390	43.3	82.6
合計	1,176	100.0	901	100.0	76.6

- ・ 2010年1月4日に、東京証券取引所の新システム「arrowhead」が稼働しました。当社において、顧客証券会社に導入しているディーリング・トレーディングシステムを「arrowhead」に対応させることは、前期からの重要課題でしたが、順調に「arrowhead」対応のシステムが稼働いたしました。
- ・ 当第1四半期連結会計期間は、「arrowhead」対応に注力する必要性があり、同四半期におけるシステム導入を行うことが困難な状況であったことから、パッケージ売上及びシステムインテグレーション売上がそれぞれ前年同期比55.9%、53.7%となりました。

- ・大阪証券取引所とJASDAQのシステム統合や、当社顧客の株式ディーリング業務からの撤退の影響で、ランセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上にマイナスの影響がありました。一方で、前期から稼動しているTIGER R6 TradingSystem ASPサービスが順調に顧客数を増やし、ライセンス売上にプラスの影響となりました。以上の要因から、ライセンスビジネス売上は前年同期比129.3%、カスタマーサポート売上は前年同期比82.6%となりました。
- ・投資環境のボーダーレス化が進展しており、金融商品取引システムには、接続市場の増加や提供情報の充実などの高付加価値化が求められております。そのため当第1四半期連結会計期間においては、研究開発費に36百万円を投入し、商品の高付加価値化への先行投資を行いました。
- ・前期より、データセンター等の設備関連費用の効率化を進めております。効率化施策実施に伴い一時的な支出増となりました。

以上のことから、売上高901百万円（前年同期比76.5%）、営業損失180百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

（投資顧問事業）

投資顧問事業の業績は、当社連結子会社であるインタートレード投資顧問株式会社の業績になります。

当第1四半期連結会計期間は、投資情報サービスが堅調に推移し売上高21百万円（前年同期比102.6%）となりました。一方で運用助言サービスが計画数値を下回ったことや一部コスト負担が増えたことにより、営業損失0百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ643百万円減少し、5,796百万円（前連結会計年度末比10.0%減）となりました。

（資産）

資産の部では、流動資産において売掛金が前連結会計年度末に比べ1,213百万円減少し、233百万円となったことが主な要因となります。

（負債）

負債の部では、買掛金が前連結会計年度末に比べ170百万円減少、長期・短期借入金合計が226百万円減少しました。結果として負債合計が409百万円減少し、3,180百万円となりました。

（純資産）

純資産の部では、利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の影響により、前連結会計年度末に比べ233百万円減少し、2,615百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ728百万円増加して、1,750百万円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況はそれぞれ次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、940百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失を計上しましたが、売上債権が1,213百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14百万円の収入となりました。主な要因は、投資有価証券の償還によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、226百万円の支出となりました。主な要因は、長期・短期借入金の返済によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは金融資本市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では期初計画通りの事業活動を進捗させる方針であり、当連結会計年度の業績見通しに変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェア開発に係る収益及び費用の計上基準の変更

受注制作のソフトウェア開発に係る収益及び費用の計上基準については、従来、工事完成基準を採用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。当第1四半期連結会計期間に着手した受注制作のソフトウェアのうち、進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(ソフトウェア開発の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については工事完成基準を適用することとしております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,867	761,279
売掛金	233,843	1,447,595
有価証券	530,934	260,898
原材料及び貯蔵品	290	319
仕掛品	157,993	106,407
未収還付法人税等	33,383	32,244
繰延税金資産	46,000	46,000
その他	35,021	69,560
貸倒引当金	△53	△334
流動資産合計	2,257,280	2,723,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,863	39,863
減価償却累計額	△16,676	△15,300
建物及び構築物(純額)	23,186	24,562
工具、器具及び備品	472,479	476,979
減価償却累計額	△351,122	△345,938
工具、器具及び備品(純額)	121,357	131,040
有形固定資産合計	144,543	155,603
無形固定資産		
ソフトウェア	64,423	71,404
のれん	1,056,539	1,173,932
その他	364	364
無形固定資産合計	1,121,327	1,245,701
投資その他の資産		
投資有価証券	1,523,481	1,564,115
繰延税金資産	291,000	291,000
その他	474,538	475,137
貸倒引当金	△16,042	△16,042
投資その他の資産合計	2,272,977	2,314,211
固定資産合計	3,538,848	3,715,516
資産合計	5,796,128	6,439,487

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,309	303,904
短期借入金	975,000	1,012,500
1年内返済予定の長期借入金	799,040	791,640
受注損失引当金	4,677	—
賞与引当金	30,000	90,000
その他	121,677	79,421
流動負債合計	2,063,704	2,277,466
固定負債		
長期借入金	1,116,480	1,312,540
固定負債合計	1,116,480	1,312,540
負債合計	3,180,184	3,590,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,452,452	1,452,452
資本剰余金	1,579,109	1,579,109
利益剰余金	△66,530	127,807
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	2,870,000	3,064,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△258,633	△219,715
評価・換算差額等合計	△258,633	△219,715
少数株主持分	4,576	4,857
純資産合計	2,615,944	2,849,480
負債純資産合計	5,796,128	6,439,487

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,228,522	902,867
売上原価	665,969	623,871
売上総利益	562,552	278,995
販売費及び一般管理費合計	608,755	460,046
営業損失(△)	△46,202	△181,051
営業外収益		
受取利息	5,045	1,799
受取配当金	8	300
受取手数料	1,440	1,011
その他	24	58
営業外収益合計	6,517	3,169
営業外費用		
支払利息	17,092	14,220
株式交付費償却	483	—
為替差損	65,128	—
持分法による投資損失	523	1,578
その他	404	—
営業外費用合計	83,632	15,798
経常損失(△)	△123,317	△193,680
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	280
特別利益合計	—	280
特別損失		
投資有価証券評価損	30,000	—
固定資産除却損	—	656
特別損失合計	30,000	656
税金等調整前四半期純損失(△)	△153,317	△194,056
法人税、住民税及び事業税	342	424
法人税等調整額	43,152	—
法人税等合計	43,494	424
少数株主損失(△)	△82,909	△143
四半期純損失(△)	△113,902	△194,338

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△153,317	△194,056
減価償却費	16,491	16,459
ソフトウェア償却費	7,745	6,981
のれん償却額	116,995	117,393
その他の償却額	977	599
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	4,677
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,500	△60,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△99	△280
持分法による投資損益(△は益)	523	1,578
為替差損益(△は益)	65,128	—
固定資産除却損	—	656
投資有価証券評価損益(△は益)	30,000	—
受取利息及び受取配当金	△5,053	△2,099
支払利息	17,092	14,220
売上債権の増減額(△は増加)	545,182	1,213,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,780	△51,557
証券業における差入保証金の増減額(△は増加)	12,126	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△36,117	3,636
仕入債務の増減額(△は減少)	7,307	△170,595
未払金の増減額(△は減少)	25,322	△2,617
証券業における預託金の増減額(△は増加)	△150,000	—
証券業におけるトレーディング商品の増減額(△は増加)	△521,779	—
証券業における約定見返勘定の増減額(△は増加)	4,205	—
証券業における受入保証金の増減額(△は減少)	△12,126	—
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△10,664	△276
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,926	23,628
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△23,996	31,014
その他	△53	—
小計	△47,755	953,114
利息及び配当金の受取額	5,635	2,080
利息の支払額	△17,375	△13,160
法人税等の支払額	△63,712	△1,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,206	940,747

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,848	△5,881
無形固定資産の取得による支出	△2,957	—
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
投資有価証券の取得による支出	△4,813	—
敷金及び保証金の回収による収入	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,419	14,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	△37,500
長期借入金の返済による支出	△188,660	△188,660
配当金の支払額	△43,395	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,055	△226,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65,128	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△303,810	728,623
現金及び現金同等物の期首残高	2,332,104	1,022,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,028,293	1,750,802

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	証券ソリューション事業 (千円)	証券事業 (千円)	投資顧問事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,171,027	55,894	1,599	1,228,522	—	1,228,522
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,904	750	19,241	25,895	(25,895)	—
計	1,176,931	56,644	20,841	1,254,417	(25,895)	1,228,522
営業利益又は営業損失(△)	△15,780	△34,272	4,300	△45,752	(449)	△46,202

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 証券ソリューション事業・・・証券業務向けパッケージシステムの設計開発・販売、保守・運用等
- (2) 証券事業・・・・・・・・・・証券業、同付随業務等
- (3) 投資顧問事業・・・・・・・・投資顧問業、同付随業務等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	証券ソリューション事業 (千円)	投資顧問事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	899,866	3,001	902,867	—	902,867
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	18,386	19,586	(19,586)	—
計	901,066	21,387	922,453	(19,586)	902,867
営業利益又は営業損失(△)	△180,631	△810	△181,441	390	△181,051

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 証券ソリューション事業・・・証券業務向けパッケージシステムの設計開発・販売、保守・運用等
- (2) 投資顧問事業・・・・・・・・投資顧問業、同付随業務等

3 証券事業に関しましては、アーツ証券株式会社の株式を譲渡したことに伴い、前第3四半期連結会計期間より連結範囲から除かれたため、当第1四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。